

『住みよい地域づくり』

私のメッセージ



鯉淵 正男さん (六十四歳)
真壁町東矢貝五八六番地三

退職して四年、「生まれ育った地域に恩返しを」の気持ちで区長を引き受けました。各種会議への参加、市からの文書配布、地区行事の実施、道路、街灯の補修要請等々、大変な仕事量、その多忙さに戸惑いました。でも、嘆いていても仕方がない。「行政との橋渡し、地区の雑用係」との軽い気持ちでかかわってみると、余り苦痛を感じなくなり、逆に地域の役に立ちたいと思うようになりました。



谷員野の立地を生かした更なる産業振興を図り、物心豊かな生活基盤の確立。そして、学校・地域が一体となり、次代を担う子どもたちが豊かな自然環境の中で、ふるさとに残り生活したいと思う状況を築くことが求められています。市政の深い理解を期待します。

昨年五月、地区西側のごみ置き場の状況について、回収車の方から「この場所は回っている中で一番汚い」との苦情を聞き、何とかしなければとの思いで副区長と検討、置き場の周りを整地、更にペゴニアのプランター鉢で飾り、手入れした結果、見違えるようにきちんと分別整頓され、気持ちよく回収してもらって

います。「心豊かなまちづくり」は、まず一人ひとりが小さなことから手掛け、その輪を広げていくことだと思っています。

現在、当地域で一番心配なことに小学校の存続があります。児童数九十三名と一〇〇名を割り、少子高齢化の中でこの状況は数年推移するものと思われれます。長い歴史を持ち、教育・文化の発信基地であり、地域のシンボルでもある小学校が、統廃合によりなくなるような事態は何としても避けなければなりません。

現在、当地域で一番心配なことに小学校の存続があります。児童数九十三名と一〇〇名を割り、少子高齢化の中でこの状況は数年推移するものと思われれます。長い歴史を持ち、教育・文化の発信基地であり、地域のシンボルでもある小学校が、統廃合によりなくなるような事態は何としても避けなければなりません。

現在、当地域で一番心配なことに小学校の存続があります。児童数九十三名と一〇〇名を割り、少子高齢化の中でこの状況は数年推移するものと思われれます。長い歴史を持ち、教育・文化の発信基地であり、地域のシンボルでもある小学校が、統廃合によりなくなるような事態は何としても避けなければなりません。

私のメッセージ 募集のお知らせ

市議会では市議会だよりに『私のメッセージ』コーナーを設置し、広く市民の皆様からのご意見を募集いたします。奮ってご応募ください。

応募方法：封書・FAXまたはメールで600字以内(氏名・住所・電話番号を記入)
応募のあて先・お問い合わせは市議会事務局まで
TEL 0296-75-3111 FAX 0296-75-6633
〒309-1292 桜川市岩瀬64番地2 E-mail gikai@city.sakuragawa.lg.jp

編集後記



勝田道雄

大寒が過ぎ寒さが身にしみるこの季節、電気や石油のおかげで暖かくして快適な生活を送ることができると思いますが、温暖化への不安も頭の片隅から消えたことはありません。

地球温暖化の進行が、台風や集中豪雨の強さと発生頻度に影響を与えられます。大気中に含まれる湿度が増えて、ひとたび台風や雨雲が発達すると今以上に勢力が強まり、米国南部を襲ったカトリーナやリタのように大きな被害が頻発する恐れがあります。そして皆さんもまだ記憶に新しいことと思いますが、我が日本においても北海道での竜巻、また、季節はずれの台風や地震の発生が多くなってきているように思います。地域ごとの気候変化を見越した、きめの細かい防災・減災対策が必要になってきております。

まずは、身近なところからの省エネ・省資源が次の世代への我々の使命ではないでしょうか。

〔備えあれば憂いなし〕

議会の動き

月	日	内 容
11月	6日	県西総合病院組合議会
	8日	筑西広域市町村圏事務組合議会
	9日	議会広報特別委員会
	14~15日	茨城県西市議会議長会定例会
	16日	議会広報特別委員会
	29日	建設経済常任委員会勉強会
12月	7日	福祉環境常任委員会勉強会
	8日	議会運営委員会 全員協議会
	12~14日	議会第4回定例会
	12日	議会広報特別委員会
	14~15日	議員研修(那須塩原市)
	26日	福祉環境常任委員会 文教常任委員会

議長 小林 正紀

議会広報特別委員会

委員長 仙波 信綱

副委員長 菊池 節子

委員 岩見 正純

〃 勝田 道雄

〃 風野 和視



この広報紙は環境保護のために古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は、3月7日(水)開会予定です。